

学番	21	阿賀黎明高等学校
----	----	----------

令和 6 年度

学校自己評価表（計画）

学 校 運 営 計 画		
学 校 運 営 方 針	1 コミュニティ・スクールとして、地域と協働し、魅力ある学校をつくる。 2 生徒一人一人の成長と進路希望実現のため、きめ細かな進路指導を行う。 3 決められた勤務時間の中で成果を上げる教育活動、働き方を目指す。	
三つの方針(スクール・ポリシー)		
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	①自分と社会の関係性を見つめ、他と協働しながら取り組む力を育成します。 ②複雑化する社会や地域に関心を持ち、様々な考えを受け入れる力を育成します。 ③好奇心をもって自ら学び続け本質を見極めようとする姿勢と力を育成します。	
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	①あらゆる進路に対応できるよう 3 つのカリキュラムを設定します。 ②少人数制により個々にあったきめ細かな指導を行います。 ③地域と連携し、地域資源を活用した教育活動を行います。 ④生徒が興味をもった題材を地域の大人が伴走しながら探究するプロジェクト学習に取り組めます。	
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	①地域の活性化に興味を持ち、学びを深めたいという意欲をもつ生徒 ②個性を認め合い、他者と協働して粘り強く努力する生徒 ③主体的な探究意欲にあふれ、積極的に学習に取り組む生徒	
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々の支援を受け、課題解決型学習や各種体験活動を様々な場面で実施した。今後は総合的な探究の時間のみならず、各教科においても探究的な学びを推進し、学力の向上を図る。</li> <li>ICT活用について、研修等の成果が出ているものの活用度 100%を目指し、引き続き校内研修等を実施していく。</li> <li>昨年初めて人権教育、同和教育公開授業を実施し、地元中学校の教職員から参観いただいた。今年度はPTAとも連携し、保護者も巻き込んだ人権教育、同和教育に取り組む。</li> <li>コミュニティ・スクールの活動が地域に浸透しきれていない側面がある。今年度は、各種メディアやチャンネルを効果的に活用し、学校活動の広報に一層積極的に取り組む。</li> </ul>	○ 地域と連携した教育の一層の推進と学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と連携した諸活動の推進</li> <li>家庭学習習慣の確立</li> </ul>
	○ ICTを活用した授業実践と生徒の個に応じた指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員のICT活用力の向上</li> <li>指導方法の工夫改善</li> <li>個に応じた授業の展開</li> </ul>
	○ 豊かな人間性と社会性の涵養	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立</li> <li>生徒指導体制の充実</li> <li>人権教育、同和教育の推進</li> </ul>
	○ コミュニティ・スクールとしての情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校活動の校外への情報提供の充実</li> </ul>

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価
地域と連携した教育の一層の推進と学力の向上	地域と連携した教育の推進	「阿賀町さいこうプロジェクト」において、地域の方々との関わりを通じて、協働性や主体性、探究力を身につける。	
		地域と連携した生徒会行事を実施する。	
ICTを活用した授業実践と生徒の個に応じた指導	教職員のICT活用力の向上	手帳の学習記録欄の活用や定期的な家庭学習状況のアンケートなどによって、生徒に家庭学習の大切さを意識させ、家庭学習状況の改善に努める。	
		教職員対象ICT活用研修を実施し、授業等での活用を促す。	
豊かな人間性と社会性の涵養	基本的な生活習慣の確立	指導方法の工夫	
		改善と個に応じた授業の展開	
		習熟度や個の特性に応じた指導ができるよう、単元や学習内容によって必要に応じ授業形態を変える。	
生徒指導体制の充実	生徒指導体制の充実	進路行事やLHRでの進路学習を通じて、生徒に卒業後の進路についてより深く考えさせる。	
		手帳を活用し予定等を把握させるとともに、自らの生活を可視化し生活習慣について改善する契機とさせる。	
		面談や日々の声かけ等を通じて、他者との交流に喜びを感じ、積極的に他者と関わろうとする態度を育成する。	
人権教育、同和教育の推進	人権教育、同和教育の推進	教職員間及び学校と寮との間で定期的な情報交換会を開催する。情報は会議で共有するほか、回覧等で全職員に周知する。	
		生徒の企画、立案による、充実した生徒会行事を実施する。全校生徒に対し生徒会への要望や行事事後アンケートを実施する。	
コミュニティ・スクールとしての情報提供の充実	学校活動の校外への情報提供の充実	P T Aと連携して講演会を開催し、職員、生徒、保護者が人権問題、同和問題について学習する機会を設ける。	
		公式W e b ページ、n o t e 等により、生徒の活動等を外部へ発信する。	
成果		P T A 総会等行事の開催日程を多様なメディアを活用して保護者へ早期に連絡する。遠方の保護者の参加を可能にするため、P T A 総会のW e b 配信を行う。	総合評価